

**■ 当ファンドの仕組みは次の通りです。**

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2008年11月12日から2027年11月10日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてアジア太平洋諸国（除く日本）と中東諸国の株式に実質的に投資し、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目的に運用を行います。
主要運用対象	ケイマン籍証券投資法人「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド」およびわが国の証券投資信託「スパークス・マネー・マザーファンド」を主要投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時（11月10日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないこともあります。

---

---

## スパークス・アジア中東株式ファンド （資産成長型）

---

---

### 第8期 運用報告書（全体版）

（決算日 2016年11月10日）

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、『スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型)』は、このたび、第8期の決算を行いました。ここに第8期の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

#### スパークス・アセット・マネジメント株式会社

東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス

< お問い合わせ先 >

リテールBDマーケティング部

電話：03-6711-9200(代表)

受付時間：営業日の9時～17時

ホームページアドレス：<http://www.sparx.co.jp/>

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
4期(2012年11月12日)	17,046	0	10.8	616.9	10.7	0.1	90.9	17
5期(2013年11月11日)	22,707	0	33.2	844.3	36.9	0.0	94.0	23
6期(2014年11月10日)	27,343	0	20.4	1,024.3	21.3	0.0	79.8	36
7期(2015年11月10日)	26,935	0	△ 1.5	995.3	△ 2.8	0.0	90.5	34
8期(2016年11月10日)	23,197	0	△13.9	899.1	△ 9.7	0.0	86.1	31

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドにはベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率
	騰落率	(参考指数)	騰落率			
(期首) 2015年11月10日	円	%		%	%	%
	26,935	—	995.3	—	0.0	90.5
11月末	26,196	△ 2.7	981.6	△ 1.4	0.0	89.8
12月末	25,908	△ 3.8	959.9	△ 3.6	0.0	88.6
2016年 1月末	23,941	△11.1	854.5	△14.2	0.0	86.4
2月末	23,414	△13.1	833.2	△16.3	0.0	87.0
3月末	24,623	△ 8.6	908.5	△ 8.7	0.0	86.1
4月末	24,563	△ 8.8	884.9	△11.1	0.0	85.9
5月末	24,005	△10.9	884.0	△11.2	0.0	86.0
6月末	22,474	△16.6	824.2	△17.2	0.0	85.0
7月末	24,369	△ 9.5	907.9	△ 8.8	0.0	85.1
8月末	23,741	△11.9	908.2	△ 8.8	0.0	87.2
9月末	23,880	△11.3	921.1	△ 7.5	0.0	86.9
10月末	23,690	△12.0	928.4	△ 6.7	0.0	86.3
(期末) 2016年11月10日						
	23,197	△13.9	899.1	△ 9.7	0.0	86.1

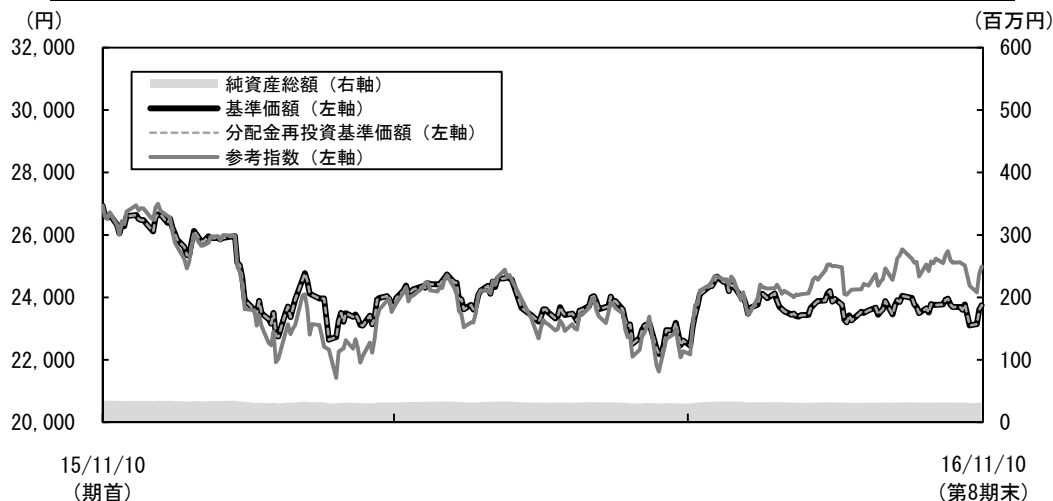
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドにはベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

■ 運用経過

1) 基準価額等の推移 (2015年11月11日～2016年11月10日)

基準価額は期首に比べ13.9%(分配金再投資ベース)の下落となりました。



第 8 期 首 : 26,935 円

第 8 期 末 : 23,197 円 (既払分配金0円)

騰 落 率 :  $\Delta$ 13.9% (分配金再投資ベース)

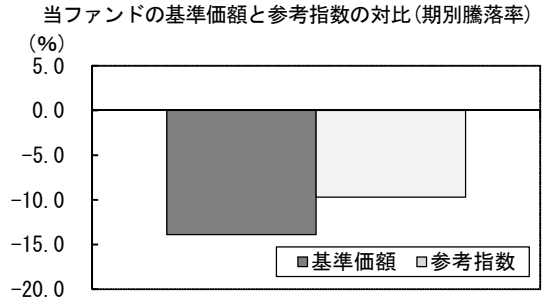
- ※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- ※ 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。
- ※ 海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- ※ 参考指数は期首(2015年11月10日)の基準価額に合わせて指数化しております。

2) 基準価額の主な変動要因

台湾市場の上昇が、基準価額の上昇要因となりました。一方で、韓国の市場の下落は、基準価額にマイナスの要因となりました。また、多くの通貨に対して円高となり、基準価額にマイナスの要因となりました。特に、香港ドルの下落が基準価額にマイナスの要因となりました。

## 3)ベンチマークとの差異

- ※ 当ファンドはベンチマークを設けておりません。  
右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ※ 参考指数は、「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。



第8期  
(2015/11/11 ~ 2016/11/10)

(注) 基準価額の騰落率は、分配金込みです。

## ■ 投資環境

### (アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式)

中国の経済指標は安定し、不動産や自動車販売が堅調で、消費の力強さが持続したことから香港市場は上昇でした。米国Apple社の好業績をきっかけに、Apple製品への台湾のサプライチェーン銘柄の一部が好調でした。期初より1月までは原油価格と商品価格は下落していましたが、それ以降は大幅に上昇し、資源国であるオーストラリア市場および中東市場は上昇しました。しかしその後、オーストラリア準備銀行(中央銀行)は8月に、0.25%の政策金利の引き下げに踏み切ったにもかかわらず、オーストラリア市場は下落しました。また、ドバイの不動産価格は下落が続きアラブ首長国連邦の市場は下落しました。日本銀行は「量的・質的金融緩和」を継続し、2月には「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」を導入したにもかかわらず、期を通じて多くの通貨に対して円は上昇しました。

### (国内債券・短期金融市場)

日本銀行は2013年4月より「量的・質的金融緩和」を継続しているため、国内債券・短期金融市場は非常に低い利回り水準となりました。また2016年2月より「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」を導入したため、国内債券・短期金融市場はマイナスの利回りとなりました。

## ■ ポートフォリオ

### < スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型) >

「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド(ケイマン籍証券投資法人)」と「スパークス・マネー・マザーファンド(国内証券投資信託)」の投資信託証券への投資を通じて、アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行うことを基本方針としております。期間中、当ファンドの運用方針に準じて、運用を行ないました。

### < SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド >

アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行いました。ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別投資しました。

#### (主なプラス要因)

Taiwan Semiconductor Manufacturing(台湾/情報技術)は、好調な決算を発表し設備投資予算を引き上げるとともに今後数年間は増配する意向を示したことから上昇しました。Tencent(中国/情報通信)は、好決算を発表し、特にモバイルゲーム事業とオンライン広告事業が好調なことから上昇しました。電動ステアリングに特化する自動車部品メーカーのNexteer Automotive Group(中国/一般消費財)は売上高が堅調に増加し利益率が拡大し上昇しました。

#### (主なマイナス要因)

中国浙江省で高速道路を営業するZhejiang Expressway(中国/資本財)は、主として経済成長の減速が高速道路の収入に影響するのではないかという懸念、および、証券子会社のIPO(新規株式公開)の延期により下落しました。フィリピン最大の電気通信サービス企業であるPLDT Inc.(フィリピン/電気通信サービス)は、同業のGlobe Telecom社との熾烈な競争に直面しており下落しました。Hotel Shilla(韓国/一般消費財)は、韓国で免税店どうしの競争が激化したことで販促費用の増加により収益性が低下したことにより下落しました。

### < スパークス・マネー・マザーファンド >

信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行っています。当作成期間の運用にあたりましては、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行いました。

## ■ 今後の運用方針

### < スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型) >

引き続き、「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド(ケイマン籍証券投資法人)」と「スパークス・マネー・マザーファンド(国内証券投資信託)」の投資信託証券への投資を通じて、アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指します。

### < SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド >

引き続き、アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別投資します。

### < スパークス・マネー・マザーファンド >

引き続き、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。今後も、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

## ■ 分配金

当ファンドは中長期的な成長を図ることを目標として運用を行っていることから、分配金のお支払いは見送らせていただきました。留保益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### 〔 分配原資の内訳 〕

(単位：円 1万口当たり・税引前)

項 目	第8期 (2015年11月11日～ 2016年11月10日)
当期分配金 (対基準価額比率)	— ( —%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	14,991

(注1) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注2) 該当欄に数値がない場合は「-」、小数点以下のみの数値の場合は「0」にて表示します。

(注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

## ■ お知らせ

### < 約款変更のお知らせ >

平成28年8月11日付で以下の約款変更を行いました。

ファンド名称の変更、組入外国投資信託証券の名称変更、及び信託期間を10年延長することとし、該当条項に所要の変更を行いました。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第8期 2015年11月11日～2016年11月10日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 )	225円 ( 45 )	0.929% (0.186)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 販 売 会 社 )	( 171 )	(0.706)	・ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額の算出等の対価
( 受 託 会 社 )	( 9 )	(0.037)	・購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(b) そ の 他 費 用	27	0.111	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 26 )	(0.107)	・ファンドの監査人等に対する報酬および費用
( そ の 他 )	( 1 )	(0.004)	・信託事務の処理等に関するその他の諸費用
合 計	252	1.040	
期中の平均基準価額は24,234円です。			

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。(親投資信託を除く)

■ 売買および取引の状況 (2015年11月11日から2016年11月10日まで)

投資証券

銘 柄 名	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	千口 0.143	千円 1,244	千口 -	千円 -

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。



■ 主要な売買銘柄 (2015年11月11日から2016年11月10日まで)

投資証券

買 付			売 付		
銘 柄	口 数	金 額	銘 柄	口 数	金 額
	千口	千円		千口	千円
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	0.143	1,244	—	—	—

(注1) 金額は受け渡し代金。(償還分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

■ 利害関係人との取引状況等 (2015年11月11日から2016年11月10日まで)

- 当期中の利害関係人との取引状況  
当期中における利害関係人との取引はありません。
- 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

種 類	当 作 成 期		
	買 付 額	売 付 額	当作成期末保有額
投 資 証 券	百万円 1	百万円 —	百万円 26

(注1) 単位未満は切り捨て。

(注2) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定する利害関係人です。

(注3) 当ファンドが主要な投資対象としている「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド」は弊社  
の関係会社であるSPARX Asia Capital Management Limitedが運用を行っております。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況 (2015年11月11日から2016年11月10日まで)

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との  
当期中における取引はありません。

■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得  
及び処分の状況 (2015年11月11日から2016年11月10日まで)

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 (2016年11月10日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		前期末	当期末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド		3	3	26,810	86.1
合計	口数・金額	3	3	26,810	—
	銘柄数<比率>	—	—	1銘柄	<86.1%>

(注1) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	前期末	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
スパークス・マネー・マザーファンド	10	10	10

(注1) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当該マザーファンドの当作成期末の受益権総口数は、9,955千口です。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2016年11月10日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 (2016年11月10日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資証券	26,810	85.5
スパークス・マネー・マザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	4,519	14.5
投資信託財産総額	31,339	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2016年11月10日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	31,339,735 円
コール・ローン等	4,518,140
スパークス・マネー・マザーファンド(評価額)	10,811
投資証券(評価額)	26,810,784
(B) 負 債	200,837
未払解約金	37,015
未払信託報酬	146,676
未払利息	12
その他未払費用	17,134
(C) 純資産総額(A - B)	31,138,898
元 本	13,423,605
次期繰越損益金	17,715,293
(D) 受 益 権 総 口 数	13,423,605 口
1万口当たり基準価額(C / D)	23.197 円

■ 損益の状況

当期 (自2015年11月11日 至2016年11月10日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	1,114,695 円
受 取 配 当 金	1,116,126
受 取 利 息	65
支 払 利 息	△ 1,496
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 4,628,798
売 買 益	1,359,253
売 買 損	△ 5,988,051
(C) 信 託 報 酬 等	△ 332,360
(D) 当 期 損 益 金 ( A + B + C )	△ 3,846,463
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	2,428,902
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	19,132,854
(配当等相当額)	( 15,597,278)
(売買損益相当額)	( 3,535,576)
(G) 合 計 ( D + E + F )	17,715,293
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 ( G + H )	17,715,293
追 加 信 託 差 損 益 金	19,132,854
(配当等相当額)	( 15,597,278)
(売買損益相当額)	( 3,535,576)
分 配 準 備 積 立 金	4,526,496
繰 越 損 益 金	△ 5,944,057

<注記事項(当期の運用報告書作成時では監査未了)>

①期首元本額	12,945,859 円
期中追加設定元本額	5,261,728 円
期中一部解約元本額	4,783,982 円

②分配金の計算過程

項 目		第 8 期
費用控除後の配当等収益額	A	782,335円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額	B	-円
収益調整金額	C	15,597,278円
分配準備積立金額	D	3,744,161円
当ファンドの分配対象収益額 (E=A+B+C+D)	E	20,123,774円
当ファンドの期末残存口数	F	13,423,605口
1万口当たり収益分配対象額 (G=E/F×10,000)	G	14,991.33円
1万口当たり分配金額	H	-円
収益分配金金額 (I=F×H/10,000)	I	-円

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

ご参考として以下に、スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型)が組入れている各投資証券の運用内容を掲載いたします。

<参考情報>

SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド

SPARX ASIA MIDDLE EAST EQUITY INCOME FUND

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

設 定 形 態	ケイマン籍証券投資法人／オープン・エンド型
基 準 通 貨	日本円
運 用 方 針	アジア中東地域の株式ならびにそれらの株式に関連する証券等を主要な投資対象として、長期的なインカムゲインおよびキャピタル・ゲインの獲得を目指します。
主 な 投 資 制 限	一発行体への投資は純資産総額の10%以内。 流動性の低い株式関連証券等への投資は純資産総額の15%以内。 発行済株式に対する投資比率は50%以内。
決 算 日	12月末日
分 配 方 針	毎年、2月、4月、6月、8月、10月、12月の各末日に、インカム・ゲインならびにキャピタルゲインを原資として分配する方針としています。
管 理 運 用 会 社	SPARX Asia Capital Management Limited
投 資 運 用 会 社	SPARX Asia Investment Advisors Limited
受 託 会 社	Bank of Bermuda (Cayman) Limited
受 託 会 社 代 理 人	HSBC Institutional Trust Services (Asia) Limited
保 管 会 社	HSBC Institutional Trust Services (Asia) Limited

(注) 記載内容、数値等は、当報告書作成日現在知りうる情報に基づき作成しております。

■ 組入資産の明細 (2016年11月9日現在)

(1) 外国株式等

銘柄	株数	評価額		業種等	備考
		外貨建金額	基準通貨建金額		
<b>(オーストラリア市場)</b>		百株	千豪ドル	千円	
Ancor Ltd / Australia	195	279	22,150	容器・包装	
Ausnet Services	3,893	574	45,527	電力	
CSL Ltd	58	566	44,903	バイオテクノロジー	
Scentre Group REIT	893	381	30,220	不動産投資信託	
TABCORP Holdings Ltd	1,389	642	50,864	カジノ・ギャンブル	
Telstra Corp Ltd	2,581	1,249	99,020	主要通信	
Transurban Group	1,651	1,684	133,541	その他輸送	
Westfield Corp REIT	464	401	31,820	不動産投資信託	
小計	株数・金額	11,124	5,778	458,045	
	銘柄数<比率>	8銘柄	—	<16.5%>	
<b>(中国市場)</b>		百株	千人民元	千円	
Zhengzhou Yutong Bus Co Ltd A Shrs	959	1,955	29,827	建設・農業機械	
小計	株数・金額	959	1,955	29,827	
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	<1.1%>	
<b>(香港市場)</b>		百株	千香港ドル	千円	
AIA Group Ltd	2,314	10,980	146,413	生命・健康保険	
CK Hutchison Holdings Ltd	280	2,638	35,171	コングロマリット	
China Mobile Ltd	225	1,953	26,043	無線通信	
China State Construction International Holdings Ltd (HKSE)	8,940	10,800	144,008	建設・土木	
Guangdong Investment Ltd	7,180	8,630	115,083	コングロマリット	
Haier Electronics Group Co Ltd	3,800	4,879	65,062	電化製品	
Hong Kong Exchanges & Clearing Ltd (HKSE)	236	4,777	63,695	投資銀行・ブローカー	
Jiangsu Expressway Co Ltd H Shrs	3,980	4,298	57,318	その他輸送	
Nexteer Automotive Group Ltd	2,490	2,525	33,668	自動車部品：OEM	
Power Assets Holdings Ltd	1,445	10,577	141,046	電力	
Samsonite International	957	2,282	30,436	その他耐久消費財	
Tencent Holdings Ltd	321	6,497	86,636	インターネット・ソフトウェアサービス	
Zhejiang Expressway Co Ltd H Shrs	8,120	6,861	91,494	その他輸送	
小計	株数・金額	40,288	77,698	1,036,070	
	銘柄数<比率>	13銘柄	—	<37.2%>	
<b>(インドネシア市場)</b>		百株	千インドネシアルピア	千円	
Telekomunikasi Indonesia Persero Tbk	11,148	4,592,976	36,252	主要通信	
小計	株数・金額	11,148	4,592,976	36,252	
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	<1.3%>	
<b>(韓国市場)</b>		百株	千韓国ウォン	千円	
Coway Co Ltd	32	297,554	26,784	電化製品	
Hotel Shilla Co Ltd	63	322,802	29,057	デパート	
Hyundai Motor Co	20	263,176	23,690	自動車	
Kangwon Land Inc	199	732,173	65,906	カジノ・ギャンブル	
LG Household & Health Care Ltd	2	148,428	13,361	家庭用品・パーソナルケア	

## スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型)

銘柄	株数	評価額		業種等	備考
		外貨建金額	基準通貨建金額		
(韓国市場)	百株	千韓国ウォン	千円		
Orion Corp/Republic of Korea	4	275,587	24,807	製菓業	
Samsung Electronics Co Ltd	6	893,760	80,451	通信機器	
小計	株数・金額	324	2,933,480	264,054	
	銘柄数<比率>	7銘柄	—	< 9.5%>	
(マレーシア市場)	百株	千マレーシアリングギット	千円		
Malayan Banking	2,845	2,239	54,767	地方銀行	
小計	株数・金額	2,845	2,239	54,767	
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	< 2.0%>	
(フィリピン市場)	百株	千フィリピンペソ	千円		
Emperador Inc	10,583	7,620	16,177	アルコール飲料	
PLDT Inc	171	24,729	52,499	主要通信	
Puregold Price Club Inc	1,244	5,119	10,868	食品小売り	
Universal Robina Corp	690	11,896	25,254	製菓業	
小計	株数・金額	12,688	49,363	104,797	
	銘柄数<比率>	4銘柄	—	< 3.8%>	
(シンガポール市場)	百株	千シンガポールドル	千円		
ComfortDelgro Corp Ltd	1,161	284	21,147	その他輸送	
Global Logistic Properties Ltd	5,590	1,140	84,779	不動産開発	
Singapore Post Ltd	1,316	201	14,969	航空貨物・航空輸送	
Singapore Technologies Engineering	742	228	16,935	航空宇宙・防衛	
小計	株数・金額	8,809	1,854	137,830	
	銘柄数<比率>	4銘柄	—	< 5.0%>	
(タイ市場)	百株	千タイバーツ	千円		
Advanced Info Service Pcl NVDR	932	14,213	42,075	無線通信	
小計	株数・金額	932	14,213	42,075	
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	< 1.5%>	
(台湾市場)	百株	千台湾ドル	千円		
Giant Manufacturing Co Ltd	580	12,710	41,751	娯楽用品	
Gigabyte Technology Co Ltd	2,370	9,646	31,685	電気部品	
MediaTek Inc	730	16,097	52,874	半導体	
President Chain Store Corp	560	13,496	44,332	食品小売り	
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd	2,530	46,046	151,253	半導体	
小計	株数・金額	6,770	97,995	321,896	
	銘柄数<比率>	5銘柄	—	< 11.6%>	
合計	株数・金額	95,888	—	2,485,614	
	銘柄数<比率>	45銘柄	—	< 89.4%>	

(注1) 基準通貨建金額は、当該ファンドの基準通貨(日本円)建の金額で、当該ファンドの計理基準に基づき換算されています。

(注2) < >は、当該ファンドの純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 上記の銘柄保有状況および評価額の情報は、当該ファンドの受託会社によって提供された情報に基づきますが、外部監査人による監査を受けておりません。

(2) 株価連動証券

銘柄	種類	額面/証券数	評価額		原証券情報	
			外貨建金額	基準通貨建金額	市場	業種
		千	千米ドル	千円		
Deutsche Bank (Air Arabia) CWts 07/31/2017	Equity Warrants	608	207	21,395	ドバイ	旅客航空輸送業
Deutsche Bank (Emirates NBD PJSC) CWts 12/27/2017	Equity Warrants	85	181	18,707	ドバイ	地方銀行
Deutsche Bank (First Gulf Bank) CWts 02/11/2019	Equity Warrants	115	375	38,820	アブダビ	地方銀行
Deutsche Bank (Maroc Telecom (CAS)) CWts 12/27/2017	Equity Warrants	25	346	35,754	カサブランカ	主要通信
Deutsche Bank (Qatar Electricity & Water Co) CWts 04/14/2017	Equity Warrants	8	467	48,296	カタール	電力
Deutsche Bank London (Dubai Islamic Bank) 03/01/2017	Equity Warrants	78	110	11,342	ドバイ	地方銀行
UBS (Housing Development Finance Corp Ltd (DMT) (NSL) ELN 10/20/2017	Equity Linked Note	6	116	11,960	ムンバイ	繰上返済
合計	株数・金額	925	1,802	186,274		
	銘柄数<比率>	7銘柄	—	< 6.7% >		

- (注1) 基準通貨建金額は、当該ファンドの基準通貨(日本円)建の金額で、当該ファンドの計理基準に基づき換算されています。
- (注2) < >は、当該ファンドの純資産総額に対する評価額の比率。
- (注3) 原証券情報は、各株価連動証券が値動きを参照している株式銘柄の情報を掲載しています。
- (注4) 上記の銘柄保有状況および評価額の情報は、当該ファンドの受託会社によって提供された情報に基づきますが、外部監査人による監査を受けておりません。

■ 損益計算書

損 益 計 算 書

自 平成28年 5月10日  
至 平成28年11月 9日

(単位：千円)

収益			
受取配当金			68,717
受取利息			4
解約差益			0
その他収益			0
	収益計		68,721
費用			
支払利息			0
受託会社報酬			11,723
監査報酬			1,838
源泉税			5,021
管理運営会社報酬			15,190
管理事務報酬			1,963
設立費償却			0
その他費用			2,781
	費用計		38,517
純投資損益			30,204
投資有価証券及び外国通貨取引に係わる実現損益			
投資有価証券売買損益			22,374
為替差損益			▲ 16,974
			5,399
投資有価証券及び外国通貨取引に係わる未実現損益増減			
有価証券未実現純評価損益増減			▲ 59,399
為替未実現純評価損益増減			10,644
			▲ 48,755
営業活動による純資産の純増減額			▲ 13,152

(注1) 上記の損益計算書は、管理運営会社が提供した純資産計算書の情報に基づき、弊社が作成したものです。

(注2) 管理運営会社が提供した純資産計算書は、外部監査人による監査を受けておりません。



## スパークス・マネー・マザーファンド

### 第 9 期

決算日 2016年11月10日

(計算期間：2015年11月11日～2016年11月10日)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債を主要投資対象とします。主として、わが国の公社債に投資を行い利息等収益の確保を図ります。
主な組入制限	①株式(新株予約権証券を含みます。)への投資は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ②同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額5%以内とします。
分配方針	決算日毎年11月10日(休業日の場合は翌営業日) 収益分配は行いません。

### スパークス・アセット・マネジメント株式会社

東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス

< お問い合わせ先 >

リテールBDマーケティング部

電話：03-6711-9200(代表)

受付時間：営業日の9時～17時

ホームページアドレス：<http://www.sparx.co.jp/>

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券 組入比率	純資産 総額
		期中 騰落率		
5期(2012年11月12日)	円 10,112	% 0.1	% 59.6	百万円 33
6期(2013年11月11日)	10,118	0.1	59.6	33
7期(2014年11月10日)	10,124	0.1	73.7	13
8期(2015年11月10日)	10,125	0.0	73.8	13
9期(2016年11月10日)	10,143	0.2	99.4	10

■ 当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		債券 組入比率
		騰落率	
(期首) 2015年11月10日	円 10,125	% -	% 73.8
11月末	10,126	0.0	73.8
12月末	10,132	0.1	73.8
2016年 1月末	10,133	0.1	73.8
2月末	10,149	0.2	99.4
3月末	10,144	0.2	99.4
4月末	10,151	0.3	99.4
5月末	10,149	0.2	99.4
6月末	10,152	0.3	99.4
7月末	10,145	0.2	99.4
8月末	10,139	0.1	99.4
9月末	10,145	0.2	99.4
10月末	10,142	0.2	99.4
(期末) 2016年11月10日	10,143	0.2	99.4

(注) 騰落率は期首比です。

■ 運用経過

信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行っています。当作成期間の運用にあたりましては、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行いました。

■ 今後の運用方針

引き続き、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。今後も、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 1万口当たりの費用明細

該当事項はありません。

■ 期中の売買及び取引の状況 (2015年11月11日から2016年11月10日まで)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 —	千円 —

■ 利害関係人との取引状況等 (2015年11月11日から2016年11月10日まで)

- (1) 当期中の利害関係人との取引状況  
当期中における利害関係人との取引はありません。
- (2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高  
該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定する利害関係人です。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況 (2015年11月11日から2016年11月10日まで)

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況 (2015年11月11日から2016年11月10日まで)

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 (2016年11月10日現在)

下記は、スパークス・マネー・マザーファンド全体(9,955千口)の内容です。

公社債

(A) 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	当 期 末						
	額面金額	評 価 額	組入比率	組 入 比 率 (うちBB格以下)	残存期間別組入比率		
					(5年以上)	(2年以上)	(2年未満)
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	10,000	10,033	99.4	—	—	—	99.4
合 計	10,000	10,033	99.4	—	—	—	99.4

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 単位未満は切り捨て。一印は組み入れなし。

(注3) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注4) 残存期間が1年以内の公社債は原則としてアキュムレーションまたはアモチゼーションにより評価しています。

(B) 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄 名	利 率	額面金額	評 価 額	償還年月日
		%	千円	千円	
国 債 証 券	第355回中期国債2年	0.1	10,000	10,033	2017/8/15
合 計		—	10,000	10,033	—

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2016年11月10日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 (2016年11月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	10,033	99.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	64	0.6
投 資 信 託 財 産 総 額	10,097	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2016年11月10日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	10,097,827 円
コール・ローン等	62,078
公社債(評価額)	10,033,400
未 収 利 息	2,349
(B)負 債	0
(C)純 資 産 総 額(A-B)	10,097,827
元 本	9,955,682
次 期 繰 越 損 益 金	142,145
(D)受 益 権 総 口 数	9,955,682 口
1 万口当たり基準価額(C/D)	10,143 円

< 注記事項(当期の運用報告書作成時には監査未了) >

1. 期首元本額	13,404,978 円
期中追加設定元本額	0 円
期中一部解約元本額	3,449,296 円
2. 期末元本の内訳	
スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)	9,945,023 円
スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型)	10,659 円

■ 損益の状況

当期 (自2015年11月11日 至2016年11月10日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	10,015 円
受 取 利 息	10,015
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	15,000
売 買 益	15,000
(C)当 期 損 益 金 ( A + B )	25,015
(D)前 期 繰 越 損 益 金	167,834
(E)解 約 差 損 益 金	△ 50,704
(F) 計 ( C + D + E )	142,145
次 期 繰 越 損 益 金 ( F )	142,145

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。